

*前期比：D I・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は-43と前期の予想DI値を2ポイント上回り、実績に比べると4ポイント改善する結果となりました。売上、収益については、前期の改善から後退し、資金繰りは今期改善となりました。設備投資については、機械設備の新・増設を中心に前期に比べ7ポイント減少し、10%の先が実施となりました。

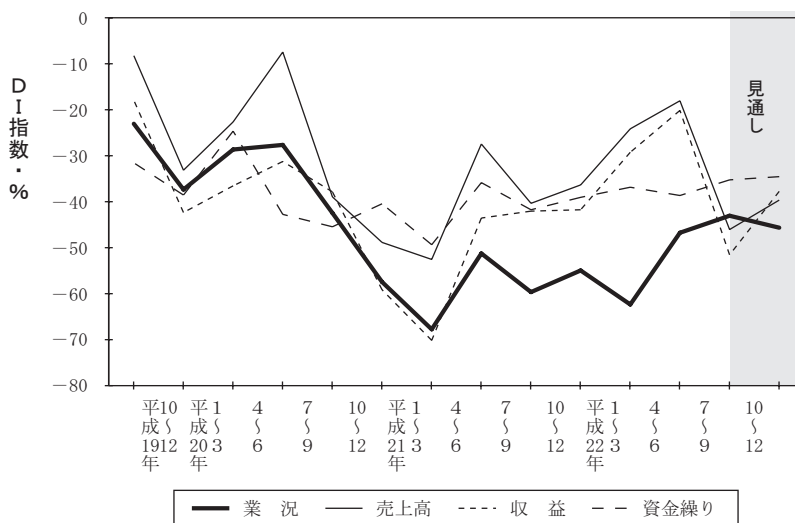
来期の予想業況判断DI値は-46と今期より3ポイント後退すると予想していますが、売上、収益、資金繰りは改善すると予想しています。設備投資については、車両を中心に今期に比べ4ポイント減少し、6%の実施と予想しています。

調査員のコメント

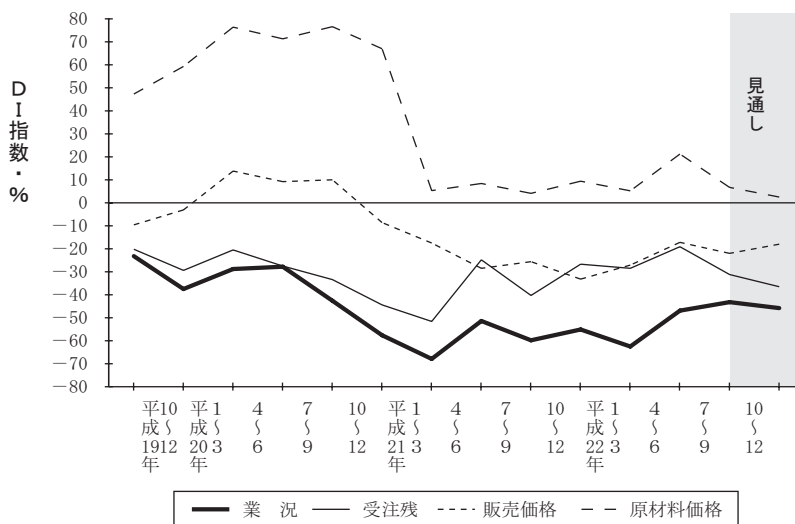
■木材製材は国産材が中心で円高の影響は少ないが住宅エコ政策の施行もあり、建築材の販売見込みは昨年度より増加見込みである。
(一般製材業)

■猛暑の影響により原材料価格上昇が経営に影響を与えている。商品価格にどれだけ付加できるかが課題である。
(漬物製造業)

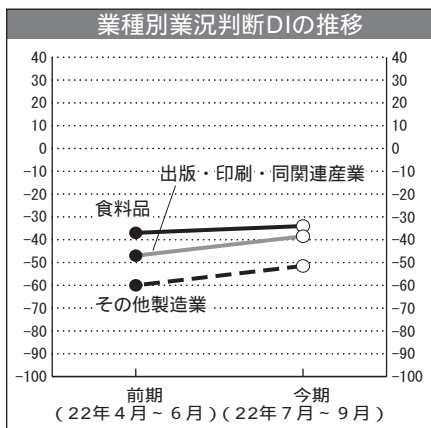
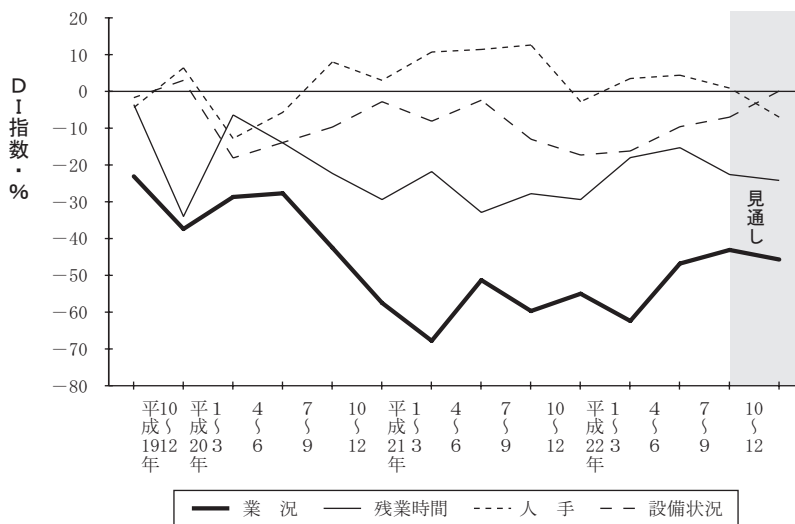
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少(1)	64%
2位	利幅の縮小(2)	28%
3位	同業者間の競争の激化(3)	22%

当面の重点経営施策		
1位	販路を広げる(1)	61%
2位	経費を節減する(2)	57%
3位	情報力を強化する(3)	29%

*()は前回順位